

‘元気るんるん’は湯田小学校のほけんだよりです。

2023年(令和5年)6月16日
福山市立湯田小学校

元気るんるん



6月は旧暦の別名で「水無月」とも言われますが、梅雨の季節なのに、なぜ「水の無い月」と書くのでしょうか？この「無」は今の「の」にあたるようで、「水の月」という意味になるそうです。また、旧暦の6月は、現在の7月上旬～8月上旬頃にあたり、梅雨があけて、水が枯れてなくなる月であるから「水無月」となった説や、田植えという大仕事を終えた月「皆仕尽」だから「水無月」になったという説もあります。

6月は他にも「風待月」「鳴雷月」「涼暮月」「焦月」などと呼ばれており、先人たちの豊かな感性には驚かされます。自然を愛で、季節のわずかな変化にも気づき、それを美しい言葉で表現し季節の移ろいの中で「今」というときを楽しんでいたのではないのでしょうか。

私たちも「あちい～！うっとうしい～！」と言うばかりではなく、季節を楽しみ、「今」を楽しむ余裕を持ちたいですね。



6月の健康目標 < 歯を大切にしよう！ >

保健室物語

…ある日の保健室
Aくんがやって来て、「シャーペンの芯がぶっ刺さりました！」と言いました。「自分で刺したの？」と聞いたら、「いいえ」と言うので、「じゃあ、だれが刺したの？」と聞いたら、「あっ、それなら自分です。…たぶん…」

タブンッテ？ ドウイウコトヨオ～！
「たぶん…じゃなくて、きっとそう！！！！」
で、どうして刺しちゃったの？」
と聞いたら、
「こんなふうにしてて…」
と、身振り、手振り、説明してくれました。
ほお～ら、やっぱり自分じゃん！もお～
何言っただかあ！！！Aくん、これからは自分をぶっ刺すことなく、お気をつけあそばせ。そして、みなさまもえんぴつやシャーペンの芯にはお気をつけあそばせ。

新型コロナ5類移行後、子どものかぜ症状が急増！ ～ コロナ禍の感染対策徹底で免疫力低下～

最近、湯田小学校では、かぜ症状で体調を崩している児童、欠席している児童が増えてきています。新型コロナ5類移行後、全国的にも子どものかぜが急増しています。6月6日の国立感染症研究所の発表によると、「ヘルパンギーナ」の患者数は移行前の5倍、「RSウイルス」は2倍になっていて、新型コロナの感染対策徹底で、コロナ禍での感染症の流行が抑えられ、免疫が獲得できなかったり、低下した影響とみられています。

さらに広島県では、アデノウイルスによる「咽頭結膜熱（プール熱）」が東広島市などのエリアで流行しており、6月1日に警報が発令されています。

◆最近、全国で流行中の感染症

- *RSウイルス感染症・・・発熱，鼻水，咳
- *溶連菌性咽頭炎・・・発熱，のど痛，手足舌に発疹
(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)
- *ヘルパンギーナ・・・発熱，のど痛，のどに発疹，水痘
- *咽頭結膜熱：プール熱・・・発熱，のど痛，結膜炎，頭痛
(アデノウイルス感染症)



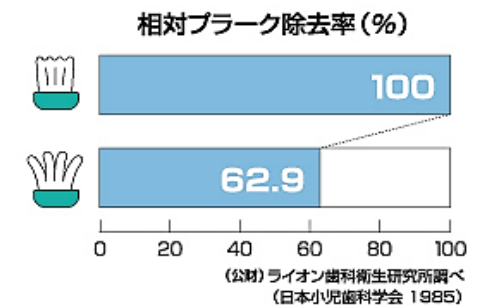
◆感染症対策には歯みがきが重要！

口の中の歯周病菌は、ウイルス感染から体を保護している粘膜の膜を溶かしてしまう酵素「フロターゼ」を排出して、ウイルスが体に侵入するのを助ける働きをもっています。歯周病菌が増えると、ウイルス感染のリスクが高くなってしまいます。

また、唾液の中に含まれている「IgA抗体」は、ウイルスをブロックして、感染を予防していますが口の中が汚れていて、歯周病菌や細菌が多い状態であれば、「IgA抗体」が正常に働かないためウイルス感染のリスクが高くなってしまいます。

つまり、感染対策の効果アップするためには、ていねいな歯みがき等で、口の中を清潔に保ち細菌数を減らすことが大切です。

●歯ブラシの植毛部の開き具合とプラーク除去率



- よくかんで食べ、唾液をしっかり出しましょう！
- ていねいな歯みがきを心がけましょう！
- 歯ブラシをこまめにとりかえましょう！
- むし歯になったら治療しましょう！

◆お子さまの健康管理をよろしくお祈いします

手洗いやマスクを活用する等の感染対策と、睡眠をしっかりと、バランスのとれた食事で免疫力をアップさせ、お口のケアで感染症を予防しましょう！

